

「にせ物」のニュースにだまされないように！

SNSなどのインターネットでは、いろいろなニュースやうわさ話を知ることができます。

そんなニュースやうわさ話は、ぜんぶ正しくて、本物のニュースばかりでしょうか。考えてみましょう。

<p>① 友だちから、トイレットペーパーが売り切れるニュースを聞いたAさん。</p>	<p>② Aさんは、友だちに聞いたニュースを家族やほかの友だちに教えました</p>	<p>③ ニュースが広まると、お店にお客さんがおしよせて大パニックに！</p>
<p>SNSに、トイレットペーパーが売り切れるって書いてある！</p> <p>大ニュースだね！みんなに教えよう！</p> <p>「ニュース」売り切れる！</p> <p>Aさん 友だち</p>	<p>だれも知らないみたいだ</p> <p>みんなの役に立つぞ！</p> <p>メッセージ</p> <p>たいへんだ！今のうちに買おう！</p>	<p>お店 売り切れる前に買おう！</p> <p>お客さん</p> <p>売り切れ 売り切れ 売り切れ</p> <p>じつは、ニュースはただの「うわさ」で、本当のことではありませんでした。</p>

インターネットのニュースには、「にせ物」があるかもしれません

インターネットやSNSでは、だれでも好きなことを書いて世界中に公開することができますが、書いてあることが全て正しいとはかぎりません。

なかには、たんなる作り話や、うわさを本当のこのように書いた「にせ物」のニュースもあるのです。

「これは大ニュースだ！」と思うものを見つけても、すぐに信じたり、だれかに広めたりする前に、まわりの大人に、「このニュースは本当かな？」と聞いてみましょう。

たとえば、「にせ物」のニュースには、こんなものがあります

<p>この作り話はバズるかも！</p> <p>めだたくてウソのニュースを流す</p>	<p>みんな聞いて！大ニュース！</p> <p>うわさを「本当だ」としてウソのニュースを流す</p>	<p>ターゲットをこまらせろ！</p> <p>だれかをこまらせるためにウソのニュースを流す</p>
--	--	---

保護者の皆さまへ

インターネットの普及により、誰もが様々な情報に触れることができる時代ですが、大量にある情報の正誤の判断は大人でも難しく、実際に誤った情報が広まったことで世間が混乱した事例が多数発生しています。

また、偽情報を発信・拡散したことにより、刑事上・民事上の責任を問われる事例も起きています。

お子様をインターネット上の偽情報から守るためには、まずは保護者の皆さまがだまされないことが重要です。

信じたいような情報でも、「複数のほかの情報と比べてみる」「情報の発信源や掲載されているサイト、筆者は信頼できるかを確認する」「情報は最新のものか確認する」などの方法で、情報の正誤の判断をしましょう。

特に、医療・健康に関する情報は、生命に関わるものですから、誤らないように注意をしてください。

もしもお子様が偽情報にだまされそうな場合は、必ず正しい情報を教えた上、偽情報が広まった場合にどのような混乱を招くかを、具体的に指導するとよいでしょう。